

2018年10月29日 日本テレビ 定例記者会見

《 要 旨 》

1. 視聴率動向と編成戦略

視聴率は10月22日週および10月の月間も全日が2着。プライム、ゴールデンは1着だった。全体的に平日午前・午後のベルト番組が少し苦戦している状況だが、各番組とも新企画を投入するなど様々な工夫をしており、盛り返すと期待している。

特に朝帯はフローの改善に全力を尽くしている。プライムタイムの番組も危機感を持っており、特にドラマの視聴率アップにこだわっていきたい。今期の3ドラマとも、目指すターゲットの支持は頂いているので、それぞれの枠で丁寧に実績を積む方針だ。

2. 営業状況

・放送収入

スポットは東京地区の投下額が前年割れ続く中、当社も前年を下回った。タイムはレギュラーのセールスが好調なこともあり、前年を上回っている。全体で見ると、ほぼ前年並みの水準を維持している。

・放送外収入

10月26日に公開された映画「旅猫リポート」が好調で、週末の興業が実写としては1位でスタート。有川浩さんのベストセラーが原作で、中身も大変良いものになっている。

イベントでは開局65年記念として11月3日から明治座で「魔界転生」が開幕する。堤幸彦さん演出、マキノノゾミさん脚本、上川隆也さん主演で舞台化したもので、すでに10月からは福岡で公演しており大変好評をいただいている。

フランス・カンヌで今月開催された世界最大のコンテンツ見本市、MIPCOM2018で、“海外バイヤーが買いたい、自国で放送したい日本のドラマ”として、日本テレビの「anone」が「MIPCOM BUYERS' AWARD for Japanese Drama」のグランプリを受賞した。

過去に当社では「Woman」「アイシテル～海容～」がグランプリを受賞しており、特別賞だった「Mother」も加えると、坂元裕二さん脚本の3作品が全て選ばれている。海外で当社のドラマが高い評価を得ていることの証左になると思う。

3. その他

・NHKの受信料値下げの方針について

NHK上田会長の受信料値下げの方針については報道を通じて承知している。

国民・視聴者が負担する受信料については、NHKの使命と目的に照らして適正・適切でなければならないと、民放事業者としてかねてから申し上げており、真に必要な費用を超える収入があった場合には、過度に放送事業に向けるのではなく、受信料値下げなど、国民・視聴者の負担軽減に向けた形で対応すべきと民放連としても繰り返し要望してきたので、今回のNHKの方針については歓迎し、期待している。

民放連としてもNHKに8つの要望項目を示しているが、基本的には8項目すべてにお答えいただきたいと思っている。

・10月からの「NEWS ZERO」について

村尾信尚キャスターの「NEWS ZERO」も素晴らしかったが、10月から有働由美子さんに代わり、有働さんのカラー、魅力が良く出ていると思う。今後に期待している。視聴率も去年の同時期に比べて若干上がっており、長いスパンで見していきたい。

・読売巨人軍の原監督就任について

原監督は過去12年間、12シーズンにわたりジャイアンツの監督としてリーグ優勝7回、日本一3回、ワールドベースボールクラシックでも日本代表として優勝するなど、輝かしい実績を重ねている。改めて原監督を中心にチーム一丸となって日本一奪還を目指してもらいたいし、その可能性は大きいと期待している。

大久保好男 代表取締役 社長執行役員

廣瀬健一 取締役執行役員 日テレラボ室長

福田博之 取締役執行役員 編成局長

(了)